

## 地域別検討協議会学区別検討資料(石狩学区)

## 石狩学区高校配置計画の見込み

区 分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7~13 (2025~2031) 年までの 増減	令和10~13 (2028~2031) 年までの 増減
	石狩学区中卒者数	19,529	19,272	19,407	18,926	18,728	18,877	18,882	18,944	▲ 585
対前年増減	+ 129	▲ 257	+ 135	▲ 481	▲ 198	+ 149	+ 5	+ 62		
札幌市中卒者数	( 15,507 )	( 15,382 )	( 15,562 )	( 15,089 )	( 14,977 )	( 15,060 )	( 15,076 )	( 15,142 )	▲ 365	+ 53
対前年増減	+ 45	▲ 125	+ 180	▲ 473	▲ 112	+ 83	+ 16	+ 66		
江別市中卒者数	( 1,181 )	( 1,116 )	( 1,187 )	( 1,174 )	( 1,146 )	( 1,213 )	( 1,189 )	( 1,184 )	+ 3	+ 10
対前年増減	+ 62	▲ 65	+ 71	▲ 13	▲ 28	+ 67	▲ 24	▲ 5		
千歳市中卒者数	( 925 )	( 873 )	( 855 )	( 880 )	( 841 )	( 871 )	( 835 )	( 856 )	▲ 69	▲ 24
対前年増減	+ 59	▲ 52	▲ 18	+ 25	▲ 39	+ 30	▲ 36	+ 21		
恵庭市中卒者数	( 628 )	( 649 )	( 632 )	( 617 )	( 601 )	( 625 )	( 612 )	( 623 )	▲ 5	+ 6
対前年増減	▲ 51	+ 21	▲ 17	▲ 15	▲ 16	+ 24	▲ 13	+ 11		
北広島市中卒者数	( 576 )	( 624 )	( 561 )	( 572 )	( 563 )	( 541 )	( 601 )	( 518 )	▲ 58	▲ 54
対前年増減	▲ 53	+ 48	▲ 63	+ 11	▲ 9	▲ 22	+ 60	▲ 83		
石狩市中卒者数	( 579 )	( 503 )	( 515 )	( 486 )	( 497 )	( 468 )	( 468 )	( 507 )	▲ 72	+ 21
対前年増減	+ 45	▲ 76	+ 12	▲ 29	+ 11	▲ 29	± 0	+ 39		
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)~13(2031)年度までの見通し	摘要	
	普通	職業	計							
札幌東	8		8	-2			4年間で公私比率勘案後0~1学級に相当する中卒者の増			
札幌西	8		8	0						
札幌南	8		8	-2						
札幌北	8		8	-1						
札幌月寒	8		8	0						
札幌啓成	8		8	-1						
札幌北陵	8		8	0						
単 札幌手稲	8		8	0						
札幌丘珠	7		7	17						
札幌西陵	7→6		6	5					R6(2024)第2次募集後学級減	
単 札幌白石	7		7	-2						
単 札幌東陵	7		7	-1						
札幌南陵	2		2	23						
札幌東豊	3		3	15						
総 札幌厚別	7		7	-3						
札幌真栄	5		5	-3						
フ 札幌あすかぜ	3→2		2	2					R6(2024)第2次募集後学級減	
札幌稲雲	7		7	14						
フ 札幌平岡	6		6	-1						
単 札幌英藍	7		7	0						
札幌白陵	2		2	15						
札幌国際情報	4	工商 1 3	8	-1						
江 別	5	商家 1 1	7	17						
ア 野 幌	3		3	28						

公私比率勘案後0~1学級に相当する中卒者の増

4年間で公私比率勘案後0~1学級に相当する中卒者の増

R6(2024)第2次募集後学級減

R6(2024)第2次募集後学級減

学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)~13(2031)年度までの見通し	摘要
	普通	職業	計						
単 大 麻	7		7	1					
千 歳	6	商 2	8	0					
総 ア 千歳北陽	4		4	36					
単 北 広 島	7		7	0					
北広島西	4		4	11					
石 狩 南	7		7	0					
当 別	1	農 1 家 1	3	38					
恵 庭 南	7		7	15					
恵 庭 北	6		6	18					
札幌工業		工 8	8	32					
札幌琴似工業		工 8	8	45					
札幌東商業		商 8	8	-2					
総 石狩翔陽	8		8	0					
単 *市立札幌旭丘	8		8	-4					
単 *市立札幌藻岩	6		6	-3					
*市立札幌平岸	8		8	-1					
単 *市立札幌清田	6		6	0					
中 等 *市立札幌開成	4		4	5					
*市立札幌新川	8		8	0					
*市立札幌啓北商業		商 6	6	-5					
44校	243→ 241	40	281	305					

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携特例校、「中等」は中等教育学校、「ア」はアンビシャススクール。

注3 学校名の\*は市町村立学校。

注4 令和6(2024)年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。

#### 学区の検討事項と現状・課題

学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、481人の中卒者数の減が見込まれることや、札幌市の整備計画も踏まえた検討が必要</li> <li>令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で18人の中卒者数の増が見込まれるほか、小規模化の状況、市区町村ごとの中卒者の状況、欠員の状況を考慮し、札幌市内の再編整備も含めた配置の在り方の検討が必要</li> <li>欠員が40人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要</li> </ul>